

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽染工株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

福山市一文字町6番1号

(3) 業種

1141 綿・スフ・麻織物機械染色業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19（2007）年度を基準年度とし、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

染色業は一般的に、高エネルギーが必要な工場や、染料等の排水により、環境に影響を与えやすい業種と言われています。私たちは一企業として、グローバル規模で進む地球温暖化の現状を考え、温室効果ガスの排出抑制に積極的に取り組んでいきます。

2. 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・重油使用量の削減
- ・廃棄物の再資源化

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	令和2年度
二酸化炭素	11,213	6,753

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	令和2年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	令和2年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)		削減目標		目標年度 (令和7年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2	11,213	42.7	4,791	6,422	
非エネルギー起源CO2				0	
メタン				0	
一酸化二窒素				0	
その他 温室効果ガス				0	
温室効果ガス 実排出量総計	11,213	42.7	4,791	6,422	
温室効果ガス みなし排出量		-		6,422	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2排出量を毎年1%削減				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	重油使用量の削減	毎年1%削減	ボイラー燃料を重油に比べてCO2排出量が少ない都市ガスへ転換
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の再資源化	回収率：100%	分別回収および資源化を徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

<エネルギー管理委員会>

エネルギー管理統括者(経営管理本部 部長)

企画推進者(生産部 部長) - エネルギー管理者(資材課)

企画研究課(課長)、業務課(課長)、晒課(課長)、染色課(課長)、仕上課(課長)

(2) 実施状況の点検・評価

- ・各課長は毎月のエネルギー使用量、加工長、省エネ活動実施状況をエネルギー管理者に報告
- ・エネルギー管理者は報告内容をまとめ、毎月実施するエネルギー管理委員会で報告
- ・エネルギー管理委員会で課題を抽出、改善策を検討、決定

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧

